



# 新型コロナウイルス感染防止対策緩和後の 対面集会再開に向けて 〔感染予防対策〕



〔用語説明〕

オンライン集会：参加者が自宅からオンライン会議ツールを利用し  
実施する集会

対面集会：参加者が集まり実施する集会

2020.9.5作成

2022.10.30最終改訂

ボーイスカウト練馬第7団

団委員長:村越茂 安全管理団委員:佐々木裕子 CS副長:佐藤まどか



そなえよつねに  
ボーイスカウト



# 練馬第7団の方針



**2020年9月5日の団合同会議でコロナ禍における対面集会を以下の条件で実施することを決定。**

- ・対面集会時には、団で定めた感染防止対策を徹底する。
- ・対面集会の開始時期と実施方法は、各隊に一任するがリーダーと保護者へ説明を行い理解を得る。
- ・リーダーやスカウトに参加を強要しない。スカウトが欠席時のフォローも行う。
- ・参加リーダーが不足するようであれば、育成会、団、他隊へ支援要請を行う。
- ・風評被害に該当する事象が発生時は、速やかに団へ報告を行う。

## **[対面集会自粛期間]**

2020年11月25日- 12月20日：東京都緊急期待宣言により自粛

2021年01月08日- 03月21日：東京都緊急期待宣言により自粛

2021年04月25日- 06月20日：東京都緊急期待宣言により自粛

2021年07月12日- 09月30日：東京都緊急期待宣言により自粛

2022年02月01日- 03月21日：オミクロン株による低年齢層の感染拡大により団として自粛

※当方針、及び感染予防対策は、ボイスカウト練馬地区から2020年7月29日及び2021年4月13日に発行されたガイドラインを遵守し、かつ団の有識者の意見を基に作成した。

今後の感染者の拡大の状況によってボイスカウト練馬地区のガイドラインの見直しや団有識者の意見を基に順次見直しを行う。

その際は保護者へ改めて連絡を行う。





# 感染防止対策



対面集会での感染防止対策として以下の徹底を図る。

- ・密閉・密集・密接の全ての密を避け、換気の良い場所を実施する。  
特に屋内での集会時は、「換気が良い」場所とする。
- ・出席者は全員不織布マスク着用、検温を実施。(マスク着用時は熱中症に注意する)
- ・定期的に水分補給を行う。
- ・おやつは持参もしくは個装(包装を消毒)は可とする
- ・体調不良者、または感染者との濃厚接触者は参加しない。  
濃厚接触者の定義：感染者とマスクなしで1m以内で15分以上の接触
- ・各対面集会時には、隊で安全管理担当者を任命する。  
安全管理担当者は集会中の感染防止に注意を払い指導を行う。
- ・各種チェックリストを用い、感染防止とその記録を残す。  
チェックリストの運用は次頁以降を参照。
- ・後述の「感染防止対策」や「Q/A」も参考に対面活動を行う。  
また、アウトへの感染予防対策の指導も行う。
- ・感染防止の周知・徹底を図るため説明会、勉強会を開催する。
- ・今後も様々な集会は活用する。





# 各種チェックリストの運用



- 各種チェックリストの運用は以下の通り。1カ月間保管する。
- 各種チェックリストは当初紙での運用を行うが、電子化も進める。

※チェックリストが家庭で印刷できない環境の方は、団委員長まで連絡ください。印刷したものを届けます。

|             | ご家庭                    |                     | 各隊                  |                     | 団委員長                        |
|-------------|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------------|
|             | 保護者                    | スカウト(保護者)           | 安全管理担当者             | 隊長                  |                             |
| 計画書作成時      |                        |                     |                     | ①活動計画書作成時チェックリスト    | チェック・保管<br>①活動計画書作成時チェックリスト |
| 当日集会前(自宅)   |                        | チェック<br>②活動前チェックリスト |                     |                     |                             |
| 集会中         |                        |                     | チェック<br>②活動前チェックリスト | チェック<br>②活動前チェックリスト | チェック・保管<br>②活動前チェックリスト      |
| 集会后         | チェック・保管<br>③活動後チェックリスト |                     |                     |                     |                             |
| 体調不良や感染者発生時 | 連絡<br>当日参加者への連絡        |                     |                     | 連絡                  | 連絡                          |

感染者発覚時の個人氏名は該当隊長と団委員長のみ



# ①活動計画書作成時チェックリスト



## 提出ルート：各隊チェック ⇒ 団

- ・ 対面集会の計画書作成時に以下の事項に対策が取られているか隊長が確認。
- ・ 集会前に実施計画書と合わせて、団委員長と佐々木団員、佐藤CS副長へ提出する。

保管期限： 年 月 日(集会日から1カ月間)

| 各隊・団の確認事項 |  | 隊長確認 | 団委員長確認 |
|-----------|--|------|--------|
| 1         | 【安全管理者の設定】<br>対面集会時の安全管理者が事前に決定している、以下の記載<br>当日安全管理者：x x x x 副長                  |      |        |
| 2         | 【集会場所の確認】<br>活動場所は参加者が1 m以上の間隔をとれる場所である<br>室内の場合、換気が良い場所である                      |      |        |
| 3         | 【集会場所の確認】<br>手洗い(石けん使用)できる設備があること<br>小手指野営場などでも、ポリタンクなどで同環境があれば良い                |      |        |
| 4         | 【集会場所の確認】<br>体調不良者が出たときの休憩&隔離が可能な場所(予備の部屋、少し離れた場所での休憩スペースなど)、対応者(安全管理者以外)を決めておく。 |      |        |
| 5         | 【活動計画】<br>屋内でハーモニカ、ホイッスル等の楽器演奏は控える。(飛沫感染防止のため)                                   |      |        |
| 6         | 【備品準備】<br>アルコール消毒液、ペーパータオル、ゴミ袋(使用済ペーパータオルを入れる)が準備されている。                          |      |        |
| 7         | 【記録】<br>事前に、スカウト、指導者、保護者、同伴者等、すべての出席者の名前を把握する。                                   |      |        |
| 8         | 【記録】<br>当日出席者全員に、「②活動前チェックリスト」の周知がされている。   |      |        |

※各隊で必要に応じて変更可





# ②活動前チェックリスト



提出ルート：全参加者(スカウト、保護者、リーダー等)チェック→安全管理担当者→隊長→団

- ・スカウト(または保護者)、リーダー、及びその他出席者は活動出発前に以下の事項に問題がないことを確認する。
- ・確認した結果は、当日の安全管理者へ提出する。
- ・当チェックシート、及び着用不織布マスク・予備不織布マスクを持参しない人は、対面集会の参加はできない。

氏名： \_\_\_\_\_ 確認日時： \_\_\_\_\_ 年 月 日( ) 時 分 保管期限： \_\_\_\_\_ 年 月 日(集会日から1カ月間)

| 全参加者(スカウト、保護者、リーダー等)の確認事項 |   | 参加者<br>(スカウト・リーダー)<br>※当日<br>自宅にて記入! | 安全管理<br>担当者<br>※集会の<br>開始時に | 隊長<br>確認 | 団委員<br>長<br>確認 |
|---------------------------|---|--------------------------------------|-----------------------------|----------|----------------|
| 1                         | 通常時の朝の体温…<br>.....<br>当日朝の検温結果…<br>※発熱の基準：37.5℃以上、又は平熱より1℃以上高い  | 度                                    | 度                           |          |                |
| 2                         | かぜの症状（発熱、のどの痛み、くしゃみ、筋肉痛、けんたい感〈だるさ〉など）がない。<br>※持病以外で、これらの症状がないこと | ある・ない                                | 度<br>(集合時)                  |          |                |
| 3                         | 過去7日間に発熱の症状がない。   | ある・ない                                |                             |          |                |
| 4                         | 過去5日間で、自身が濃厚接触者になっていない。   | いる・いない                               |                             |          |                |
| 5                         | 不織布マスクを着けている。<br>予備不織布マスクを集会の持ち物に入れている。                         | はい・いいえ                               |                             |          |                |
| 6                         | 集会へ出発する前に、水を飲んだ。  | はい・いいえ                               |                             |          |                |
| 7                         | アルコール消毒のアレルギーがある場合はリーダーへ申告すること。                                 | (事前に、保護者より申告)                        |                             |          |                |
| 8                         | 上記以外で気になる点がある場合、この欄に記入してください。                                   |                                      |                             |          |                |

※各隊で必要に応じて変更可





# ③活動後チェックリスト



## スカウトまたは保護者がチェックし自己管理

氏名： \_\_\_\_\_ 参加集会日： \_\_\_\_\_ 年 月 日 保管期限： \_\_\_\_\_ 年 月 日 (集会日から1カ月間)

| スカウト、保護者の確認事項 |  | スカウト<br>保護者 |
|---------------|--|-------------|
| 1             | 帰宅したら、手洗い、消毒、うがいを最初に行う。                                      |             |
| 2             | 十分な休息を取る。  |             |
| 3             | 休息を取った後、検温する。 検温結果： _____ °C 検温日時： _____ 年 月 日 時 分           |             |
| 4             | 集会後の5日間、体調に問題ないこと。<br>万一体調不良が生じた場合は、医療機関で診断を受け、その結果を隊長に連絡する。 |             |
| 5             |  |             |

| 各隊、団の対応 |  |
|---------|--|
| 1       | 体調の変化等に関する連絡をいつでも受けることができるようにしています。  |
| 2       | 保護者から「体調不良」「感染」などの連絡が来た場合には、その状況を当該隊長、団委員長、団関係者が共有し必要な対応を行います。<br>「体調不良」や「感染」した方の氏名は当該隊長、団委員長のみしか共有いたしません。                                       |
| 3       | 万一感染者が出た場合には、活動計画書、報告書をもとに、できるだけ詳細な情報を入手し、練馬地区へ報告とその後の連携を図ります。当日の集会参加者には隊・団から連絡をいたします。<br>感染者の個人氏名は報告いたしません。<br>*練馬地区は、報告を受けた後、ルールに則り東京連盟に報告します。 |

※各隊で必要に応じて変更可





# 感染防止対策で準備するもの



## ◇団で準備し各隊へ支給

- ・ペーパータオル
- ・アルコール(70%以上)消毒液+スプレー
- ・使い捨て手袋(調理時やおやつ配布時に着用)

## ◇各隊

- ・安全管理担当者の任命(各集会毎)
- ・集会当日のゴミ袋(使用済ペーパータオルを入れて飛散防止する)
- ・体温計

## ◇スカウト=保護者

- ・対面集会時参加時は以下を事前準備  
「②活動前チェックリスト」
- ・着用不織布マスク、予備不織布マスク：活動に持参





# 団内の対応体制



## ◇団全体

取り纏め：村越団委員長

補佐：佐々木安全管理団委員、佐藤CS副長

## ◇各隊

取り纏め：各隊隊長

補佐：各隊安全管理担当(各対面集会毎に任命可)

- ・感染者発覚の際は、以下の連絡ルートとする。

保護者→各隊長→団委員長→団関係者

※感染者氏名等は個人情報に留意し当該隊長と団委員長のみに留める。

- ・地区報告は団委員長が行うが、感染者氏名は報告しない。
- ・当日参加者への連絡を隊・団から行う。
- ・マスコミ等の対外的な窓口も団委員長が行い、団関係者と協力し対処する。





# 新型コロナウイルス感染予防について



日頃よりスカウト活動にご支援いただきありがとうございます。

スカウト、リーダー、各ご家庭が安心して充実したスカウト活動が行える様、  
新型コロナウイルス感染防止対策の知識をまとめました。

目的：新型コロナウイルス感染防止の知識習得  
対面集会時のリーダーの感染予防対策  
スカウトへの指導事項→スカウトへの教育





# 新型コロナウイルス基礎知識



## 新型コロナウイルスとは

- 人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症
- この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」と言う

## コロナウイルスの構造

- ウイルスはその構造からエンベロープ（脂質性の膜）のあるウイルス（エンベロープウイルス）と、エンベロープのないウイルス（ノンエンベロープウイルス）に分けられる。
- エンベロープウイルスは、アルコール消毒剤によりダメージを受けやすい。
- インフルエンザウイルス、コロナウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルス、エイズウイルスなど。





# 新型コロナウイルス基礎知識



## 主な感染経路

### 飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染。

※主な感染場所：劇場、満員電車などの人が多く集まる場所、飲食や接待を伴う密閉空間

### 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着。別の人がある物を触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染する。

※主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

特殊な状況ではエアロゾル感染（≒③空気感染）があると考えられている





# 新型コロナウイルス基礎知識



SARAYA公式ホームページより

<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>





# 新型コロナウイルス基礎知識



## ● 潜伏期間

- 世界保健機関（WHO）のQ&Aによれば、現時点の潜伏期間は1～12.5日（多くは5～6日）とされており、また、他のコロナウイルスの情報などから、感染者は7日間の健康状態の観察が推奨されている。
- 感染した場合、症状の出る2日前くらいから感染力があるといわれている。→症状がなくてもマスクが必要

## ● 感染症対策

こまめに石けんと流水の手洗いまたはアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒を行い、手を清潔に保つ。石けんと流水の日常的な手洗いだけでは落としきれずに残ったウイルスや細菌を除去するために、さらにアルコール手指消毒を行うことも有効。

しっかり手洗い・消毒し、感染をストップさせましょう！





# 感染防止対策



## 1. 接触を避ける

2m離れる(最低1m) = 飛沫感染の防止

咳をすると、唾液と一緒にウイルスは2m飛ぶ。  
(1回の咳で約10万个)

くしゃみでは、唾液と一緒に3m飛ぶ。  
(1回のくしゃみで約200万个！)

普通の会話でも1mくらい飛ぶ。

ウイルス単独で飛び出すわけではなく、周りに水がかっついているので、重さがあるのですぐに落ちる。





# 感染防止対策



## 2. 正しい手指洗淨

「10秒もみ洗い、15秒すすぎ」を2回繰り返すと、ウィルスの数は、ほぼ0になるとの調査結果あり！

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

出典) 首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>



## 手洗いのすすめ

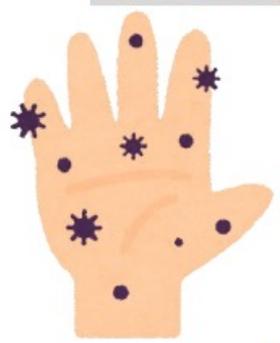
水と石鹸（ハンドソープ）で、ウイルスは減らせます

※手洗いの効果（イメージ図）



手洗いなし

約  
100万個



流水 15 秒

約  
1万個



石鹸 10 秒もみ洗い  
+ 流水 15 秒

約  
数百個



石鹸 10 秒もみ洗い  
+ 流水 15 秒を 2 回

約  
数個

(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌, 80：496-500 (2006)



# 感染防止対策



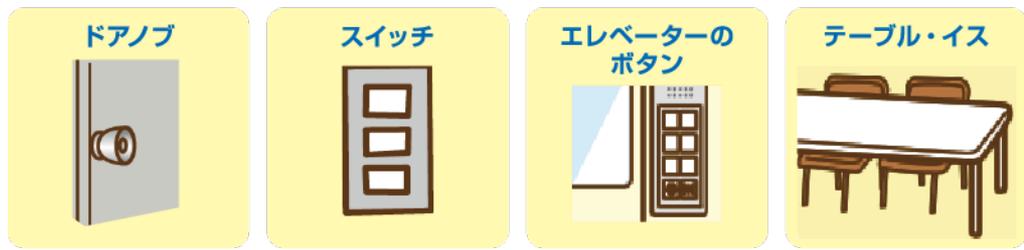
## 3. 環境の消毒

### トイレの清掃・除菌すべき箇所



- 床や壁もしっかりと。
- 手洗いシンクのカランも忘れずに。

### 人の手がよく触れる箇所



SARAYA公式ホームページより  
<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>



# 感染防止対策



- ・ 公衆・コンビニ等のトイレ利用時：  
不特定多数が利用するトイレ内では、個室の中でも手指で直接目鼻口を触らない様に注意してください。  
トイレを出た後にも十分手指衛生を行う様にしてください。  
(入り口の取手等を触るため)
- ・ 糞尿から出たコロナ菌は死菌なので、感染力はないと言われています。





# 感染防止対策



**ウイルスは、感染した生きて細胞の中でしか増えない。でも、付着した場所で結構長生き。**

アルコール濃度70%以上のものが新型コロナウイルスを1分以内に不活化できると報告されている。

加熱も新型コロナウイルスの不活化に効果的 (56°C+30分以上)

|             | 新型コロナウイルスの環境中における生存期間<br>(湿度40%の環境下) |
|-------------|--------------------------------------|
| 紙、ティッシュペーパー | 3時間                                  |
| 銅           | 4時間                                  |
| 段ボール        | 24時間                                 |
| 木           | 48時間                                 |
| 布           | 48時間                                 |
| ステンレス       | 48～72時間                              |
| プラスチック      | 72時間                                 |
| ガラス         | 96時間                                 |
| おさつ         | 96時間                                 |





# 感染防止対策



## 4. 咳エチケット

咳やくしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。

マスクを持っていない場合、咳やくしゃみをする際は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

鼻汁や痰の付いたティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。



1

マスク上部の金具を  
鼻と頬の形に  
フィットさせる



2

鼻に合わせて  
キュッと!

マスクを下に引き、  
蛇腹部を広げて  
あごまで覆う

SARAYA公式ホームページより

<https://family.saraya.com/kansen/coronavirus/index.html>





# 感染防止対策



## 5. 換気

空気が入れ替わらないところでは、エアロゾルはいつまでも同じところを浮遊する。

(エアロゾルでは3時間経過してもウイルスは1/6しか減少しない。)

エアコンは、部屋の外と中の空気を入れ替えずに、部屋の中の空気を循環させているだけ。

窓開け、換気扇の使用が必須。

広い室内(体育館等)でも換気がされていなければ、空気中にウイルスが留まります。





# 感染防止対策



室内での対面活動時は以下を参考に「換気が良い」を条件を保ってください。  
(厚生労働省のHPより)

## 専門家検討会の見解（抄）

### クラスター（集団）感染発生リスクの高い状況の回避

- ① **換気を励行する**：換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- ② **人の密度を下げる**：人を密集させない環境を整備。会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- ③ **近距離での会話や発声、高唱を避ける**：大きな発声をさせない環境づくり（声援などは控える）。共有物の適正な管理又は消毒の徹底等。

### 窓の開放による方法

- 換気回数※を毎時2回以上（30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。）とすること。  
※ 換気回数とは、部屋の空気がすべて外気と入れ替わる回数をいう。
- 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合、二方向の壁の窓を開放すること。窓が一つしかない場合は、ドアを開けること。





# Q / A



## マスク着用は効果があるの？

ウイルス : 0.1 $\mu$ m  
エアロゾル : 0.3~5 $\mu$ m  
飛沫 : 5 $\mu$ m

※ $\mu$ m : マイクロメートル(1000分の1mm)

花粉症マスク : 約 30 $\mu$ m以上の粒子をブロック

風邪・ウイルス対策用マスク (≒サージカルマスク) : 約 3~5 $\mu$ mの粒子をブロック

ガーゼ・布マスク : 500 $\mu$ mくらい? (種類が多すぎてわかりませんでした)

飛沫感染に気をつければいい新型コロナウイルスは、風邪・ウイルス対策用マスクならば  
予防効果があります。

ちなみに、

- ・不織布マスクとは...繊維同士を色々な方法で結合させてシート状にしたもの。緻密なものから隙間の多いものまでさまざま。
  - ・マスクの性能を表す指標として「BFE」や「VFE」がある。粒子径約3 $\mu$ mもしくは1.7 $\mu$ mの物質が除去された割合 (%) で表す。つまり数値が大きいほど、性能がよいマスク。
  - ・マスクはカーゼ、布、不織布どれも何層か重なっているので、単純に繊維の穴の大きさ以上にウイルスを捕捉できる。
- 着用するマスクは不織布マスクとしてください。  
オミクロン株は布・ウレタンのマスクは効果が低いとされています。





# Q / A



## 濃厚接触者？

コロナ確定患者と、コロナ感染症を疑う症状を発症した2日前から隔離開始までの期間に接触した人の中で、

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・患者と手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策無し（不織布マスク着用なし）で、15分以上の接触があった者

これ以外ならば、感染のリスクは低くなる、と考えていいようだ。  
ただし、感染しないわけではない。なぜなら、**接触感染**という経路があるから。





# Q / A



## 感染リスクの割合？

- ①飛沫（ひまつ）感染 : かぜをひいた人と15分間、歌ったり話したりする。  
8%
- ②接触感染 : かぜをひいた人が触ったコップに触る。  
50%
- ③空気感染 : かぜをひいた人と金網で仕切られた部屋で2～3m離れて3日間  
過ごす。  
0%





# Q / A



## 公共交通機関を利用時の感染予防対策は？

公共交通機関では、不特定多数の人との接触や物に触れます。  
以下の点を守れば感染リスクは低くなります。

- 公共交通機関を利用中はマスクは外さない。
- 乗車中は必要な場合以外は、物に触れない。
- 混雑の時間帯、混雑している車両は避ける。
- ホームや駅構内でも人混みは避ける。  
(混んでいる場合は少し待ち空いてから行動)
- エスカレーターは避け、なるべく階段を利用。
- スカウト同士も2班等に分け、別の車両に乗る。
- 下車後(乗換時)、もしくは改札口を出た後には手の消毒の徹底。
- 車中では手で目鼻口を触らない。





# Q / A



## 物の受渡や同じ物を触った場合の感染予防策は？

集会前にアルコール消毒していますが、その後集会中に触ったものを通じて手などにウィルスが付着している可能性があります。

以下の対策が徹底されていれば、感染リスクは低くなります。

- ・ 集会前後に手洗い、もしくは手の消毒の徹底。
- ・ 不織布マスク着用の徹底。手で鼻や口を触ることの防止にもマスクはなります。
- ・ 指先にコロナ菌が付着しても、目、鼻、口を触らなければ感染しない。  
傷口などからの感染は現時点で報告なし。
- ・ 団関係者以外の人からの物の受渡時は、受渡後に手の消毒の実施。

(ご参考)

- ・ 紙幣、硬貨はウィルス付着の可能性があります。  
紙幣、硬貨をさわった後は手指衛生を行いましょう。





# Q / A



## 食事の際の感染予防策は？

食事中はマスクを外すため、感染リスクが高くなります。

以下の点に守って感染リスクを低くしてください。

- ・ 食事前に手の消毒。
- ・ 食事をする場合は1 m以上の間隔を取り一方向を向いて食べる。
- ・ 食事中の会話は行わない。  
会話をする場合は、不織布マスク着用もしくはハンカチで口を覆う。  
とにかく飛沫の防止！
- ・ 直接手で触る食事は避ける。(食事前に手の消毒を行う)  
おにぎり等も包んであるラップやアルミホイルをもって食べる。
- ・ 調理をする際は、食材は火を通せば菌は死滅します。  
火を通す食材のみとして、生もの(生野菜やフルーツ等)は避ける。
- ・ テーブル、調理器具は、使用前後に必ず消毒する。
- ・ 洗いものは泡立てたスポンジを使って行う。
- ・ おやつは持参もしくは個装(包装を消毒)は可とする。





# Q / A



## 水分補給時の注意事項は？

脱水予防だけでなく、感染予防のためにも水分補給は重要です。  
水分補給をすることで、咽喉等に付着したウィルスが洗い流されます。

水筒から水分補給をする場合、手で水筒の呑口を触れることで指先に付着した  
ウィルスが口内に取り込む可能性があります。

水分補給の前に指先の消毒をすることで感染リスクを防止できます。





# Q / A



## 活動中に発熱者が出た場合の対策は？

- ・発熱の目安は、37.5度以上、もしくは平熱+1度以上。
- ・発熱した人は、可能な限り速やかに隔離を行う。
- ・保護者に迎えに来てもらう。  
事前に保護者と合意しておく。  
(リーダーが発熱時は自身で帰宅も可)





# Q / A



## 宿泊を伴う活動時の対策は？

### ■ 共通

- ・ 毎朝、健康チェックを行う。(検温、咳)  
問題がある場合は、前頁の対応を行う。咳の場合は、持病(喘息)は除く。
- ・ 洗顔、歯磨き中の会話はしない。

### ■ 舎営

- ・ 宿泊部屋の人数は、定員人数の半数以下にして密を避ける。
- ・ 入浴時は、脱衣後・着衣前に入浴前後まで不織布マスクを着用し、入浴中の会話はしない。  
リーダーが必ず一緒に入浴し指導する。
- ・ 就寝中も不織布マスクを着用。(就寝中に外れてしまった場合は止むを得ない)
- ・ 宿で出される食事は感染予防対策がされている(バイキング形式でない)ことを確認する。

### ■ 野営

- ・ テントは、一人一張とする。ただし、同居家族での共有は可とする。

### ■ ご参考

- ・ 参加前の抗原検査は必須とはしない。発症前(潜伏期間)は陽性になり難いため。  
但し、地区や他団との合同キャンプ等でルール化されている場合はそれに準じる。



# スカウトへの指導



## 日々の感染予防

1. 感染源を絶つこと
2. 感染経路を絶つこと
3. 抵抗力を高めること
4. 感染者への差別的な行動を避ける





# スカウトへの指導



## 1. 感染源を絶つ

自分が感染源にならない（ウィルスを持ち込まない）



- ✔ 毎朝健康チェックを行うことを習慣化する
- ✔ 体調が悪い時(発熱等の風邪症状)などは無理に学校などに行かない
- ✔ 体調が回復するまでは外出せず自宅で過ごす
- ✔ 自分が感染していて人にうつすかもしれないという意識を持つ
- ✔ 外出時、人と接する時はマスクをつける





# スカウトへの指導

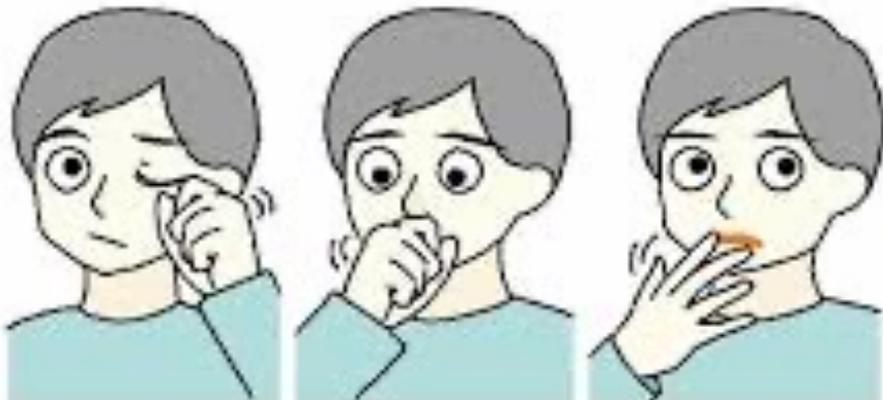


感染ルートは粘膜にある

ウィルスのついた手で  
さわっていると  
したら・・・

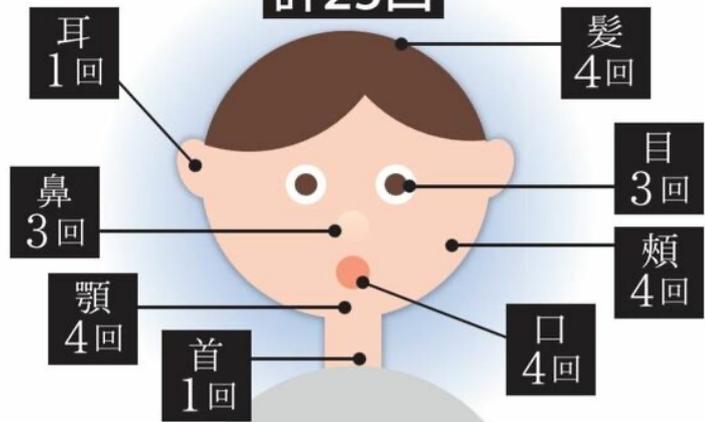
## 感染リスクを高める動作の例

- ・目をこする
- ・鼻をこする
- ・口に触る



学生が1時間に自分の顔に触った平均回数

計23回



※オーストラリアの研究を基に作成。合計と各部位の回数の合計は四捨五入のため一致しない





# スカウトへの指導



## 2. 感染経路を絶つ ~~飛沫感染 接触感染~~

- ✓ 手洗い・・・ハッピーバースデーの歌を2回歌うくらい  
いていねいにしっかり洗い残しなく

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻を  
かんだとき



給食（昼  
食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを  
触ったとき



- …最も不十分になりやすい箇所
- …不十分になりやすい箇所





# スカウトへの指導



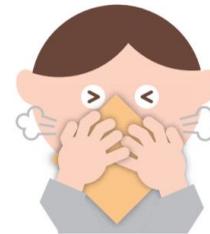
## 2. 感染経路を絶つ 飛沫感染 ~~×~~ 接触感染

- ✓ マスク・咳エチケット  
マスクは家の外では**食事の時以外いつも**つける  
清潔なもの・サイズの合ったもの

職場や学校など人が集まる所でやろう。

- ✓ 食事のときはおしゃべりしない、向き合って座らない
- ✓ 人（友達や家族）との距離は2m（最低1m）はあける

ティッシュやハンカチなどで口や鼻を覆う



上着の内側や袖で覆う



マスクを着用する





# スカウトへの指導



## 3. 抵抗力をつける

- ✓ **睡眠**  
夜更かししない、スマホ・ゲームはほどほどに  
朝早く起きて太陽の光をあびるのがよい睡眠の秘訣
- ✓ **食事**  
三食きちんと食べる  
納豆・ヨーグルト・味噌・キムチなどの発酵食品で免疫力アップ
- ✓ **運動**  
家の中でもできる運動を
- ✓ **リラックス**  
家族や友達とゆったり過ごす  
好きなことをして過ごす





# スカウトへの指導



## 4. 感染者への差別的な行動を避ける

- ✔ コロナ感染者や周囲の人への誹謗（ひぼう）中傷等の差別的な行動はやめましょう
- ✔ 感染者のことを他の人へ言い広めることもやめましょう！
- ✔ 相手の気持ちを良く考えてください。





# 団は1つの家族



発団55周年記念キャンプ  
2019.8.10~12 山中湖

